

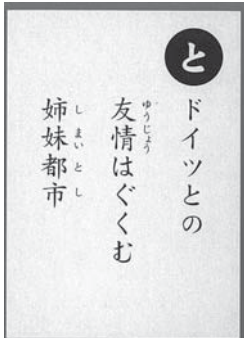
か る た で し も つ け 再 発 見

『下野市ふるさとかるた』
今月は「と」です

下野市とドイツのドイツヘルツォーグは姉妹都市締結をしています。

ことの始まりは、ドイツの旧シユタインブリュッケンをそのまま日本語に直すと、「石橋」であることから、獨協医大名学芸長 故石橋長英博士の橋渡しにより旧石橋町との交流が始まりました。

1966年に両町の作文交換から始まり、友好親善訪問、ホームステイなど盛んに交流が図られました。そして、1975年に旧石橋町とシユタインブリュッケンで姉妹都市が締結されました。両町とも合併を経て、現在の下野市とドイツヘルツォーグとなりまして、このように、長年にわた



り両町の中学生や市民の公式訪問団の相互派遣、ホームステイなど文化交流を通して友好を深めてきました。市町村合併により双方とも区域が広がり、共通であった町名「石橋」も変わってしまいました。

そこで、これまでの交流を今後も進めていくことを確認するため、2009年10月1日にドイツから11名の訪問団が下野市を訪れ、下野市とドイツヘルツォーグで、新たに姉妹都市提携の調印を行いました。これからも市民の交流が進むことを期待します。

※ドイツヘルツォーグ.. フランクフルトから北西に約100キロ、多くを森林が占める人口約6,800人の小さな山間の市です。

男女共同参画社会

バレンタインデーも男女共同参画！

2月14日はバレンタインデー。日本では一般的に女性から男性へ愛情を告白する日としてチョコレットを贈る習慣があります。

しかし、最近では、恋愛感情を伴わずに感謝の気持ちを込めて贈る義理チョコや友チョコ等も盛んです。さらには男性から女性へ送る逆チョコ、自分へのご褒美に高級チョコを購入するマイチョコなどもあります。

このように、バレンタインは、女性から男性へという形式にとらわれずに、自由に楽しめるイベントの一つになっています。こうした最近のバレンタイン事情のように、普段の家庭生活や学校、職場、地域においても、楽しくイキイキと過ごせるよう、男だから女だからと決めつけることなく日々を楽しむものですね。

問い合わせ先

市民協働推進課
☎(40)51080

まずは相談

高齢者のやけどにご注意を！

高齢者は身体機能の低下等により重いやけどを負うリスクが高まると考えられます。冬の時期に事故が増えますので、日頃から注意を払うことが大切です。

低温やけどを防ぐためには、長時間同じ場所を温めないことが重要です。暖房器具や湯たんぽ、カイロ等を使用する場合は、製品の使用上の注意をよく読みましょう。特に就寝時には、布団が暖まったら湯たんぽやあんかは布団から出す、寝るときはカイロは使用しない、電気毛布等は高温で使用しないなどの注意が必要です。

痛みや違和感がある場合は医療機関を受診しましょう。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル(44)4883
国分寺庁舎2階

安全安心課内

相談日時

月～金曜日
(祝日・年末年始を除く)
午前9時～午後5時
(正午～午後1時を除く)

※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。
※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ

☎(028)925)2227

わかるかな？

まちがいさがし

2枚の写真には違っているところ3つあります。見つけてみてください。(印刷の汚れは除く。)

※答えは51ページ
新春賀詞交歓会にて下野市歌を歌う、ソプラノ歌手 西口影子さん▶

